

# ほほえみ

Vol.55

ず〜っと笑顔で「まごころを込めて」

私たちは、「真心を込めた安心」をご提供し、地域社会への貢献と企業価値の向上を実現します。

## 推しスタッフリレー

今号の推し!!



デイサービスセンター えみあす二木成 理学療法士

眞次 紀子

滝田さんってどんな人?

とってもまじめで優しい人。ご利用者様のことも私たち仲間のことでも本当によく考えてくれる。そして、よく笑う!!私がこの会社に入った時に指導係で滝田さんからたくさんのお話を教えてもらいました。今は別の事業所で働いていますが、これからも頼りにしていますのでよろしくお願ひします!!

## その人の持っている力を大切に、いつまでも住み慣れた自宅で暮らしていけるよう、地域の方の力になっていきたい

私の働くデイサービスセンターえみあす二木成では、前向きなご利用者様が、どんな人が来ても、元気になる場所です。

普段、えみあすでは理学療法士として、ご利用者様の身体状況を確認しながら、その人に必要な運動支援を行ったり、一緒に働くケアスタッフに対し運動や安全な介助法について必要な知識や技術等の指導を行っています。

また、介助するばかりではなく、ご自分でできることは自分でやれる環境作り、本人の持っている力を大切に介助の仕方や福祉用具などの選定について、家族などにも提案・アドバイスをしています。

以前は病院で勤務していました。その時にALS(筋萎縮性側索硬化症…手足・のど・舌の筋肉や呼吸に必要な筋肉が徐々に衰え、筋力がなくなっていく病気)を患う方の支援に携わらせていただいたことがあり、その地域に拠点を持つ、医師や看護師、ケアスタッフやリハビリスタッフそして家族、さまざまな方が関わり障害がありながらも「旅行に行く」という本人の目標に向かって、連携し実現することができました。

その経験を通して感じたことは、「生きぬく」という大切さ。私たちは生きているからこそ目標を持てる。それぞれの環境はあるけれど、生きていけば可能性はゼロじゃないということ、今は亡くなってしまいましたが、その方から学ばせていただきました。今は、地域に住む高齢者の方に向けて発信していきたい。「年だからできない」ではなく、「したい」という気持ちに欲張りになって元気に過ごしてほしい。そのために理学療法士がいるということを忘れてほしくないです。

私は、関わる皆さんに寄り添える人でありたい。理学療法ということだけにこだわらずいろんなものを取り入れながら、これからも一人ひとりの心に寄り添った理学療法士でありたいと思っています。

## お知らせ

### ■ADL維持等加算算定について

デイサービスセンターえみあす二木成では、ご利用者様の自立支援・重度化防止につながるサービスの一つである、「ADL維持等加算」を11月よりいただいております。これはどこの事業所でも算定できるものではなく、一年間という期間の中で、その人に合った機能訓練を提供することで、ご利用者様のADL(日常生活動作)の維持・改善の度合いが一定の水準を超えている事業所に対し、介護報酬に上乗せして加算をいただけるものです。

7時間のデイサービスの中で、余暇活動だけではなく在宅生活が継続できるための支援が提供できるということは、私たち事業所においても自信につながりました。引き続き地域の皆様が元気に住み慣れた自宅で、過ごしていけるよう精いっぱい努めていきたいと思ひます。

### ■運動×eスポーツの取り組み

楽フィット筑西では筑波大学との共同研究といたしまして、運動×eスポーツの取り組みを行っております。デイサービスでの運動にeスポーツを合わせることで「運動機能」「認知機能」「社会的機能」の改善が期待されており、現在ご利用者様の皆様にもご協力をいただいております! 全国に先駆けした「新しい取り組み」ですので、ご興味のある方はぜひ楽フィット筑西にお問ひ合わせください!



## 今号のNo.1 スマイル



暖かな日差しに誘われて秋桜(コスモス)ドライブに出かけた際の1コマです。きれいに咲いた秋桜を見て笑顔を見せてくれました。

## 編集後記

1月は、一年の始まりということで気持ちも新たにできる、良い機会です。今回の号では、スタッフの新年の決意や内に秘めた想いを載せることができました。新年とはいえ、まだまだコロナウイルスやインフルエンザ等心配事はつきませんが、お体には十分お気を付けてお過ごしください。

## Facebook 更新中!!

ライフサポートでは、各事業所の活動をFacebookにて発信しています。ぜひ、ご覧ください。 facebook.com/sekishols



セキショウライフサポート  
Sekisho Life Support

本部  
〒308-0841 茨城県筑西市二木成827  
TEL.0296-25-3220 FAX.0296-25-5861  
https://sekisho-ls.co.jp/

介護付き 高齢者向け住宅  
Emiasu

茨城県筑西市二木成827  
TEL.0296-25-5851  
FAX.0296-25-5861

デイサービスセンターえみあす二木成  
Emiasu

茨城県筑西市二木成827  
TEL.0296-25-5880  
FAX.0296-25-5861

自立支援型デイサービスセンター  
楽フィット

茨城県筑西市蔵317-1  
TEL.0296-25-2770  
FAX.0296-25-2776

グループホーム  
よつ葉

茨城県筑西市蔵316-2  
TEL.0296-54-6288  
FAX.0296-23-6031

セキショウ居宅介護支援事業所 茨城県筑西市二木成827 TEL.0296-45-8033 FAX.0296-25-5861



何歳になってもチャレンジは楽しい!!  
楽フィットで実施しているeスポーツの様子。  
ゲームは子どもものなんて、時代遅れですね!

目次 | ●新年のごあいさつ・今年の抱負・座談会…2・3  
●推しスタッフリレー・今号のNo.1スマイル…4

# 事業所紹介

## 自立支援型デイサービスセンター 楽フィット

寒さが本格的になり、お体の調子も崩れやすくなります。肩回りを動かしたり脳トレをすることで、体も温まってきます。「温活」と言葉があるように、体を冷やすことでさまざまな弊害が生まれてきます。ぜひ皆さんも億劫だなと思わず、毎日10回でも実践してみてください!!



## 介護付き高齢者向け住宅 Emiasu

えみあすでは、定期的にテイクアウトでのランチ会を開催しています。それぞれにお好きなメニューを選んでスタッフが一緒に楽しんでいます。コロナ禍になり、さまざまなお店でテイクアウトを用意するようになったので、消費者からすると、選ぶ楽しみの幅が広がりがうれしいものです。「食」の楽しみは、いくつになってもなくなりません。「いつもと違う」を楽しんでいただけるよう、今後も続けていこうと思います。



## グループホーム Emiasu よつ葉

花壇の草取りのお手伝いをさせていただきました! 小さな雑草も見逃さず取ってもらい、おまけに掃き掃除まで行っていただきました。至れり尽くせりです(^^) ありがとうございます!! 本日も、皆さんの美化運動のおかげで、ご利用者様全員が気持ちよく過ごすことができます。



## グループホーム よつ葉

よつ葉では、夏ごろに植えたさつまいもが大きく実り、ご利用者様と一緒に収穫をしました。「今年は、大豊作だ!」とうれしそうにスコップを片手に掘られ、おやつの際に「大学芋」として提供し「おいしいね」と召し上がられました。外出がまだ少ない中、畑での収穫の楽しみや収穫した物の味を楽しむことを行っていききたいと思います。



## 正月に思う。

株式会社セキショウライフサポート  
代表取締役社長 浜野善則



ご利用者様には、新年を健やかに迎えたいとお慶び申し上げます。コロナ禍は足掛け3年目を迎えて、昨年を通して気に掛けなければならぬ状況でした。そのような中でも、当社サービスを積極的にご利用いただき誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、小欄では、私の正月を迎えるにあたっての心構えの変化を記させていただきます。長年、「二年の計は元且にあり」、仕事・家中のことについて、どのように処するべきなのかを考えるようになってきました。環境変化、決まりごとは多々ある中でも、できるだけ自らの意思を実現したいと思ってきました。云わば「こうしたい」だったのですが、最近では「こうありたい」に変わってきています。「正月や冥途の旅の二里塚 めでたくもありめでたくもなし」これは一休禅師の句です。一見、「世は無常」の意味にとれるところですが、これを私は、「限られた人生の中で来し方を自分なりに振り返り、これから望むことを考える機会にしない」と読んでいます。「他人がどう評価するかでなく、自分がどう評価するか」。思えば自分の心次第。他人から貧相に見えるようにも、自分が幸せならそれでよいのだと思います。

念のため補足しますが、妻(パートナー)は他人ではありません。僧老同穴、同じ心根を持って過ごしていきたいものです。(と、私の側では思っています。)

新しい年も、皆様に安心してご利用いただけますよう社員一同、感染防止に努めてまいります。本年もよろしくお願いたします。末筆ながらご利用者様ならびにご家族皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

## 今年の抱負

デイサービスセンター  
えみあす二木成 リーダー 黒澤隼人



ご利用者様が、休まずに毎日行きたい!!と思えるようなデイサービスを作る!

ご利用者様とのコミュニケーションが、一番と考えています。「アゲが楽しみ!」あのスタッフに会いいたい!そんなふうな思っているように頑張ります!!

## 介護付き高齢者向け住宅 えみあす二木成 リーダー

稲葉孝典



ご利用者様が楽しく通えるような声掛けをしたい!

1回1回のご利用を充実感ある満足した時間にしていただきたいので、皆様に声を掛けて積極的に関わってまいります。

## グループホームよつ葉 ケアスタッフ

中山早苗



えみあすをもっともっと笑顔のあふれる施設にしたい!

経験を生かし、仲間と共に常に考えながらリーダーとしてチームを支え、えみあすをもっともっと笑顔とまじりあふれる温かい施設にしていくのが頑張ります。

## グループホームよつ葉 ケアスタッフ

中川宏美



ご入居者様が自分でできる喜びを日々増やすサポートをする!

ご入居者様が毎日の生活を送る上で、自分でできることを増やし、自信をつけてもらいたい!そして笑顔でお過ごしていただけるよう、サポートをしたいと思えます。

## 座談会

## 「コロナと共に これからの介護について」

「コロナ禍の二年を振り返って、どんな一年でしたか。」

佐々木 楽フィットは、介護予防の方が多く利用して下さっていますが、コロナ禍でもどうしても自宅からの外出を控えてしまうことで「運動が後回しになってしまふご利用者様が目立ちました。通常の3分の1程度しかご利用者様が利用されないなんて日も多くあり、これまでの運動習慣がなくなってしまう、そんな危機感を持ちました。また、年末に行くにつれて入院する方が増えてきました。はつきりとしたことは分りませんが、転倒や体調不良など、いつにも増して多かつた印象です。

飯村 よつ葉は地域密着の事業所ですので、地域の方との交流がなくなりました。ボランティアなどの受け入れもできなくなり、生活の中の彩りが少なくなりました。とても寂しさを感じましたね。

永木 介護付き住宅では、これまで自由に外出されていたご利用者様が、コロナの発生数が多かつたころは、買い物なども遠慮していただかなくてはならぬと思われました。ご家族とも触れ合うことができない。ご入居者様もつらかつたと思います。

また、居宅介護支援事業所では、ご自宅への訪問がしにくい状況の中、なんとかご本人様の様子や話を聞きに行けるよう努めてきました。玄関先や窓越しでお話を聞くなど、少しの変化も見落とさないよう、特に注意してまいりました。

また、コロナ禍ではご利用者様のご家族様が熱を出してしまうと、ご本人様がサービスを使えなくなる、なんてこともあって、本来介護する側の休息にも介護サービスは必要であるにもかかわらず、そういったなんともいえない状況が起きてしまっていました。そういったところで、居宅のケアマネは苦しかつたですね。あとは、佐々木さんが言う通り、実感として入院する方が増えているのを感じています。

佐々木 そうでした。茨城県でも一番コロナが猛威を振るっていた時期は、利用控えの方に対して、居宅のケアマネさんと連携し、その人に必要な運動内容を紙にまとめて渡したりしましたね。

永木 いかに、サービスを使わなくても身体機能を落とさずこのコロナ禍を乗り切るか、とても大変であり、大切な時期でした。

また、スタッフに関しては、感染予防という意識が強く、手荒れするほど消毒したり、プライベートでも、これまでのように自由な外出ができなくなると、「我慢」の日々でしたね。世間では、テレワークなども定着していましたが、介護の現場はそういったことはできませんし、いつ誰が感染してもおかしな状況の中で、緊張感のある日々を送っていたと思います。家族が行く学校などでクラスターや感染者が発生すると大事なとり仕事を休んでもらっていたこともあり、どこの事業所でも人員的に厳しい日もありました。本当にスタッフの踏ん張りには、感謝しかありません。

——そういった状況の中で、新たな取り組みもあつたと思えますが。

飯村 新たな取り組みとしては、オンラインの普及です。リアルでの面会ができなくなつて、ご利用者様とご家族様がつながりにくくなつた状況に、オンラインでの面会は、とても喜んでいただきました。また、LINEなどでもご家族様へ頻繁にご入居者様の様子を写真で送ったりして、新たな連絡手段も確立できました。

音楽療法の先生ともzoomをつなげて、オンラインでの教室を開催しました。オンラインでつなげることで、先生の表情も確認できてご入居者様にも分かりやすく支援できていた様子でした。

永木 あとは、窓越しでの面会。ガラス窓一枚挟んで、電話を使い面会していただきましたよね。できるだけ家族とのつながりを立ち切らないよう、会社を上げてさまざまな検討を重ねてきました。筑波大の先生に入っていたとき、空気の流れ・換気の仕方など、アドバイスをいただきました。感染症は目に見えるものではないので、「なんとなく」ではなく、「根拠」に基づいて予防していく大切さも学びました。

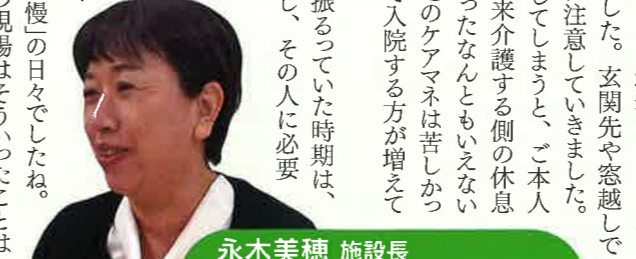
佐々木 現在は、マシンを使った運動だったので、マシンを一人ひとり使用するたびに消毒をしていました。ご利用者様が安心してご利用していただくためには、徹底した消毒作業は必須でしたし、「良くやってくれるから安心だ」ってご利用者様に言っていた時には、とてもうれしかったです。

——今後取り組んでいきたいことなどがあれば教えてください。

佐々木 楽フィットでは、現在、筑波大の先生や学生と連携して、eスポーツと運動を組み合わせ、認知機能の低下の防止に向けて取り組んでいます。eスポーツと運動を組み合わせ、認知機能の低下の防止に向けて取り組んでいます。eスポーツと運動を組み合わせ、認知機能の低下の防止に向けて取り組んでいます。

飯村 社会には、さまざまなボランティアや取り組みをしている人がいます。これまでは、来所していただくというところに目を向けていたのですが、今はオンラインでたくさんの方とつながることがあります。ご利用者様の生活に彩りがもつと提供できるような、たくさんの方とつながりを持ちながら、ご入居者様に喜んでいただける企画などを考えていきたいです。

永木 私たちもICT化をより進めていきたいですね。コロナ禍になって、会いたくない人に会うように会えないという部分に、ICTは大きな影響を与えました。関わる方に合った方法でよりご本人様の望むサービス、ご家族様の想いが反映できるような、そして専門職の連携をより強固なものにしていくため、オンラインでの会議や面談、報・連・相などが当たり前にできるようにしていきたい。



飯村修一 施設長  
グループホームよつ葉

永木美穂 施設長  
セキショウ居宅介護支援事業所  
介護付き高齢者向け住宅えみあす二木成  
デイサービスセンターえみあす二木成

佐々木亮太 センター長  
デイサービスセンター楽フィット 筑西